

MORI のめざめ

安心と信頼の施設 白金の森

[発行元] 社会福祉法人 奉優会

港区立特別養護老人ホーム 白金の森

[編集] 白金の森 事務課 太田

[お問い合わせ先] 03-3449-9611(代表)

[HPアドレス] <http://www.foryou.or.jp>

第14号 平成25年4月発行

皆さま、いつもお世話になりまして誠にありがとうございます。施設長の山川です。

社会福祉法人奉優会が港区立特別養護老人ホーム白金の森の指定管理者として運営を開始しまして2年が経過いたしました。3年目下記のような取り組みを行ってまいります。今年度も何卒よろしくお願ひ申し上げます。

平成25年度自金の森 理念

すべてのご入居者の皆様が安心して過ごすことができる施設を目指します。

ご入居者の皆様が、不安なく、安心してお過ごしいただけるよう、職員が一丸となってサービスを提供してまいります。医療的な支援が必要な方も、認知症状の方に対しましても、医師を含めた専職員が連携して、皆さまにわかりやすい透明な自金の森を目指します。美化にも力を入れていき、緑に囲まれた自金台の地に、地域の皆様に愛される緑の豊かな「自金の森」を目指します。

2年間（23、24年度）の振り返り

- ・介護職員の人数（人員配置）の増加
- ・食事時間の30分間の延長（1時間30分へ）
- ・お米の変更、おかずの見直し等の食事内容の変更
- ・ご希望に応じて入浴回数の変更
- ・北里研究所病院との連携による医療体制の確立
- ・新聞やホームページによる広報活動の充実
- ・ご家族向け事業報告及び計画の伝達
- ・月に1度のご家族懇親会の開催
- ・リハビリ専門職員の配置
- ・歯科医師、歯科衛生士による口腔ケアの強化
- ・半年に一度の個別ケアプラン会議の開催
- ・感染症委員増員とノロ対策職員全員参加達成
- ・ご利用者外出機会の増加
- ・清掃業務専任職員の配置
- ・ショートステイ部門の強化
- ・看護職員の入れ替え及び教育
- ・行事、レクリエーションの増加

新年がスタートしました!!

8年目（25年度）の計画

- 全利用者の生活のうろおいの提供を実現します。
- 医師、薬剤師、歯科医等の専門職員と連携し、認知症のご利用者様への対応力を施設全体で強化します。
- ご利用者様の日常のご様子などを速やかに正確にて情報提供するよう組織体制を整備し、明確にします。
- 職員のスキル向上と仕事の内容、役割を明確にするために教育訓練を充実させ、資格制度の構築します。

◆白金の森施設長 プロフィールを紹介◆

山川 純一（42歳）昭和45.10.27生まれ（A型）

趣味：サッカー・映画・読書

好きな言葉：前向・謙虚・勉強熱心

住まい：東京都世田谷区駒沢

メール：yamakawa@foryou.or.jp



5月のご家族懇談会の日程です



《2階の入居者様のご家族》

19日（日）13:30～

《3階の入居者様のご家族》

26日（日）13:30～

青森県の郷土料理です



メニュー

- ご飯・高菜の粕汁
- ホタテのマリネ
- にしんと山菜の煮付け
- りんごのコンポートヨーグロト添え

青森県は全国有数の農業・漁業産出県です。

○今回は生産量1位のりんごと2位のホタテを使用した献立となっております。

○りんごの栄養的特徴といえば食物繊維です。これは腸内に入った時に、消化物やコレステロールなどを包み込んで、腸内を刺激し体外に排泄させやすくする働きがあり、便秘の改善や高血圧予防に効果があります。

○さらに腸内の乳酸菌の生育を促進し、悪玉菌の活動を抑え、善玉菌を増やす働きがあり、下痢にも有効です。またカリウムも豊富に含まれており、ナトリウム(塩分)を排泄する作用や、体内水分バランスを整え利尿を促す働きがあり、むくみの改善、腎臓病や高血圧の予防に効果があります。その他にも美容効果や疲労回復、食欲増進などにも効果があると言われていています。

○しかしりんごは固くて食べづらい果物です。でも是非食べて貰いたいと思い、縦に薄くスライスするなど生でも食べて頂けるように工夫をして提供しています。(管理栄養士 児玉)

こんにちは♪

作業療法士の宮澤美樹です。

昨年の4月から白金の森でリハビリを担当させて頂いています。趣味は、映画観賞や水族観、動物園まわりです。

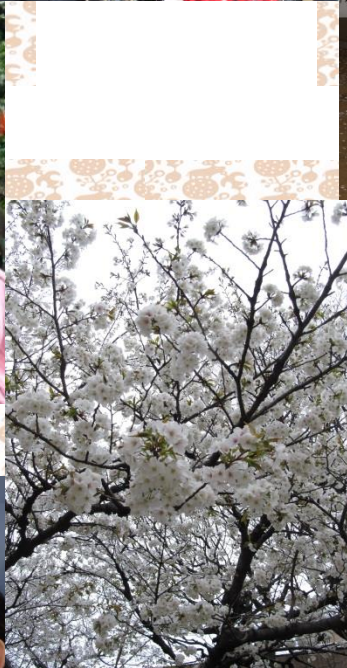
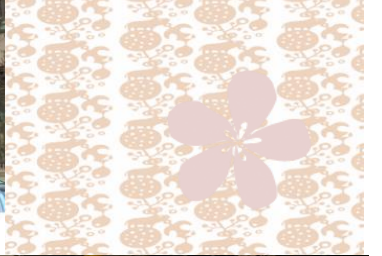
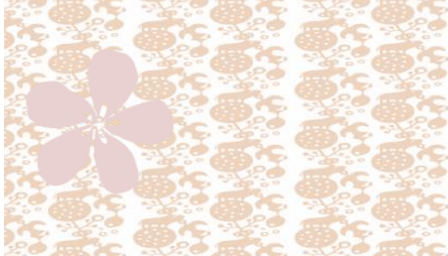
昨年度は個別でのリハビリが主でしたが、今年度はご利用者同士が集まって行なう体操や作業活動にも力を入れていきたいと思っています。また、これからもご利用者、ご家族様との出会いを大切に頑張っていきたいと思いますので、

どうぞよろしくお願ひ致します☆



お花見に行きました

今年は平年より早く開花したので、お花見が長く楽しめましたね♪

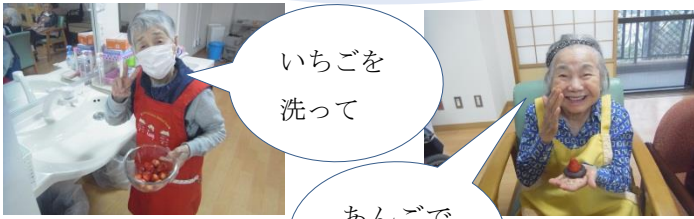




「自立支援に迷う」

調理クラブ

いちご大福



いちごを洗って



あんごでくるんで



白玉で包んで



できあがり



いただきます

自立支援とはどういう意味でしょうか。介護保険法第一条総則には、「その有する能力に応じ、自立した生活を営むことができる・・・」という内容が記されています。解釈によっては、「自分で出来ることは自分で行う」ということでしょうか。例えば、歩行が自立されている方のケアプランを作成する際、歩行をする機会を出来るだけ増やすような内容になります。具体的には、トイレまで、お一人で安全に歩いて頂ける為の、環境整備を盛り込みます。

しかし、ここに思わぬ落とし穴が隠されており、過去にも私も何度も落ちたことがあります。元気に歩行出来る方から、夜間の排泄について、オムツやポータブルトイレの希望が出た場合、どのように対応することが望ましいでしょうか。自立支援の視点では、歩行できるのだから、トイレへ行く為の方法を考えることが正しいのでしょうか。ここに落とし穴があります。オムツやポータブルトイレを希望する方には必ず理由があるのです。尿意を感じてからトイレへ移動するまでに間に合わず失禁してしまい落ち込んでしまった方、寝起きに身体の痛みがある方、夜勤職員に気を遣って迷惑をかけたくないと思っている方、等等、実は様々な理由があります。身体機能のみに着目してしまうと自立支援の押し売りになってしまい、結果的に、ご本人の思いを無視することになってしまいます。

その方の既往歴、性格や生活歴、等を広い視野で捉え、日々のコミュニケーションの中から本音を引き出すことが、ケアマネに必要なスキルになります。自分が90歳台になった時に、24時間頑張り続けることはできません。今でも無理です

ごあいさつ



こんにちは。白金の森で3階フロアリーダーを務めさせて頂いております、神吉です。

この度の人事異動で等々力の家への異動が決まり、4月いっぱい白金の森を去ることになりました。2階で1年半、3階では半年という短い期間ではありましたが、多くのご入居者とご家族、職員と一緒に、本当に様々な経験をさせて頂きました。職場は離れてしましますが、今後も白金の森の皆様のご多幸を祈念しつつ、介護及び福祉サービスの質向上に貢献するべく、努めていきたいと思っております。2年間、お世話になった皆様、本当にありがとうございました。

白金の森介護1課 神吉 大輔